

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【グループワーク 1】 A班

テーマ：もう一度考えよう・・・「原子カムラ」はあるのか、ないのか、何なのか？

「原子カムラ」というものをどうしたらよいか？

(F) よろしくお願ひします。『もう一度考えよう・・・「原子カムラ」はあるのか、ないのか、何なのか？』はこちらで、『「原子カムラ」というものをどうしたらよいか？』がこちらになっているみたいなので、まず、このテーマに対して、皆様から意見を出してもらいます。

3分ほどということになっていますので、まだ書いていますという場合は30秒くらい延ばしてもいいですけど、ストックしておいてください。で、最終的に皆が書き終わったときに、どんどん貼って行って、意見を言っていきたいと思います。では、今から3分間、よろしくお願ひします。

こちらだったらこちらだけでもいいですから。両方ともあったら両方書いてください。どんどん書いてください。

まず、「ある」って一言書くとか、分かりやすくしていただければと思います。

(記入中)

(F) では、皆に意見を読み上げてもらいながら、模造紙に貼っていくという作業になります。意見に対する意味の確認をしてください。

貼り終わった後に、意見を言ってくださいいね。では、こちらの方から、どうぞ貼って行ってください。

—— 私は、「ある」のかなと。2つあって、マスコミの命名というのがひとつ。あとは業界内のつながりとか、締め付け、そういうことかなと。こちらに関しては、これだけですな。

こちら（どうしたらよいか？）もですか？

(F) お願ひします。

—— 日本には原子力以外にも業界団体があるので、「ムラ」を無くすのはちょっと無理じゃないかなと思います。

あとは、「ムラ」という言葉はなくしたほうがいいのではないかと思います。言われたほ

うも団結する効果があるので、逆効果ではないかなと。そういう点で、お互いあまり生産的じゃないなど。

(F) 分かりました。では、次の方、お願いします。

—— 私は、「ない」のかなと思いました。あまりグループみたいに形取るとよくないかなと思うので。

(F) 『「原子カムラ」はあるのか、ないのか』と言われたら、ないと思うということですね。

「どうしたらよいか？」というのはどうですか？ 現実にはこういうくくりがあるので、どうしたらいいか。

—— 今までの悪いイメージを払拭するという事です。

それから、私たちでも〔親しみやすいものにする〕ということ。

〔情報の公開を速く、できるだけ分かりやすく〕ということ。

〔一般の人と信頼関係を高める〕べきかな、という意見です。

(F) 分かりました。では、次の方、お願いします。

—— はい。まずこちらは、「ある」ということで、〔原子力を専門の生業としている人々〕ではないかと。

あと、やはりこれは〔マスコミの造語〕ではないかということですが。

「どうしたらよいか？」というほうは、少し似たようなことなのですが、〔原子力技術のメリット・デメリットを理解してもらおう努力〕が必要だということ。

あとは、教育ですね。〔教育を含む、技術（リスクを含む）の理解〕をしていただくということ。

(F) はい。では、次の方、お願いします。

—— はい。私は、「あるのか、ないのか」ということは、まだ分かっていません。不透明なので。

そして、あるのであれば、一般に向かっていないのではないかと思います。

(F) ああ、内にこもっていると。

—— 内にこもっている。

それから、〔あるとしたら、あまりにも閉鎖的〕と思っています。

で、そちら（どうしたらよいか？）は書いていませんので、今から書きます。

(F) はい。では、次の方、お願いします。

—— はい。〔利害関係でつながるもの〕が、もう少なからず、

(F) これは「ある」ということですね？

—— うん、そちらの方の意見と同じですけど、そういうつながりというのはどこにもあるもので、ムラというのはそうだろうなど。

特に、原子カムラの中で問題になるのは、前回も少しありましたけど、〔知識のカベ〕がやはりどうしても大きい。先ほど（自己紹介時）、調べても分からないというお話もありましたが、やはり、そういうアクセス性みたいなものがよくないのか、難しいのか、というのがあるのかなと思います。

で、ちょっとこれは書き方が硬かったんですけど、「どうしたらよいか？」というのは、やはり、〔先入観をなくす〕ということがいいのかなと。そこから知識を共有していくことで、理解が深まって、納得してもらえるものも出てくるのではないかな、というところですね。

(F) はい。私は、〔親方日の丸護送船団のムラ〕として、原子カムラは「ある」と思っています。ちょっと厳しくてごめんなさい（笑）。

—— いえいえ。

(F) 〔専門家集団で頭は固まっている〕ので、どうせあなたたちには分からないだろうというくらいの気持ちで、説明を果たしていない。

だから、「どうしたらよいか？」というと、〔説明責任を果たす〕。〔透明性を高める〕ということですね。だから、頭が固いとか、こういう先入観をなくしてほしかったら、もっと話をしてくださいと。

〔職業であるがゆえ、被ばくについても一番ゆるやかに考える〕。一番低いデータを取っているのではないかな。

〔ムラの人々の技術への過信が安全神話となった〕のでは、ということですね。

では、そちらの方、お願いします。

—— ええと、「あるのか、ないのか」については、「ある」というふうにも感じられたし、「ない」というふうにも感じられたので、両方なのですけど。

「ある」のほうは、[お互いを疑っている関係]。なんか、

(F) 原子カムラの人も一般市民の人たちを疑っているということですか？

—— どちらの意見もこのフォーラムを通して感じたことなのですけど、(専門家の方も)参加する前に、どれほどバッシングされるんだろうという、ある種の疑いを持っているし。一般の方も、どうせ頭でっかちなんだろう、みたいな疑いを持っている。

(F) 要は、不透明なのですよ。

そちらも出してください。ないならば、ということですね。ないならばこれ、あるならば、これと。

—— そうですね。「ない」と感じた面は、専門家の方の中でも、全然違うことを言っている方がいらっしやったりする。

(F) そうですね。こちらの方とこちらの方の意見が違うような感じですよ。先ほど一緒だと思っておっしゃっていましたが、(私は)全然違うと思うので(笑)。

—— 前回で、ちょっと、こう、

(F) 細かい説明はまた後でもらうので、こちら(どうしたらよいか?)の意見をお願いします。

「人として」(読み上げた)。人間性が勝負なのですね。

—— そうですね。フォーラムを通して思ったことなのですけど、人として交流したらすごい意見が。しかも時間をかけて。今回、3か月かけているわけだから、時間をかけて、ちょっとお茶をする時間とかもあって、そういう人と人との交流があったら、話しやすいかなど。

(F) こちらは、「信頼関係」(読み上げた)。

—— あ、順番を間違えました。[信頼関係を築く]ためには、こういうことが必要なんじゃないかということです。

—— すみません、「どうしたらよいか？」に貼ってください。

(F) はい。[ムラという言葉がなくす] (読み上げた)。そちらの方の「どうしたらよいか？」に対するご意見は、ムラという言葉がなくし、理解できるように先入観をなくす努力をしていくということですね。

これで意見が出し終わりましたが、

(サブ F) 時間ちょうどです。

(F) いい感じですね。

では、貼られた意見に対して、自由に意見を言っていきます。また、意見と意見のつながりについても意見を言いましょう。ここでの発言は、サブファシリテーターがキーワードをポストイットに書き出し、発言者に確認しながら貼っていきます。ゆっくりと落ち着いて話し合いを進めてください。

では、どうぞ。15分間もあります。

—— 実は、池上彰さんの本に、そうだ、ってという言葉がありました。文系と理系の人間はかみ合わない。やはり、理系の問題なので、うちにも1人、理系の理屈っぽいのがいて、(話を聞いていると) もういいよ、ってなっちゃうんだけど、政府でも、理系の人たちが文系の人に分かるような説明していかなければいけないんじゃないか。

(F) それは思いましたね。福島のとくに。

—— そう、とても分からないんですよ、こっちは。そうすると、

(F) 小馬鹿にされているように感じるし。

—— 小馬鹿にされているというより、うちの息子は地学をやっている、もう理屈っぽくて、途中でもういい、ってなっちゃうんだけど、さすが池上さんだなと思ったのは、私はそこに気がつかなかった。それを読んで、ああ、そうだなって。もう、文系と理系は思考回路が違うので。そうすると、

(F) だから、「先入観をなくすように」といったって、「知識のカベ」があるだろうと思われているから、

—— そう。だから、それを聞いたときに、ああ、あの本に書いてあったなって思いまし

た。そこかもしれない。それはとても大事なこともかもしれないと思ったので。

(サブ F) ええと、理系の人が、文系の人に、

—— 理系の人のお話は、文系には分からないので、分かりやすく説明すべきではないかということです。(池上さんの本の) ある項目の最後に書いてあって。

(F) 日本はどうしてもそうなのですよ。国立の大学を出ていても、理系の人がレポートを書く时无茶苦茶な日本語を書くのだそうです。これじゃ通らないよってというような。

—— それ(理系と文系はかみ合わない)はすごく納得のいった言葉でした。

(F) 東電さんも、日本原子力学会さんも、文系の人を雇うべきですよ。

—— うーん、でも、かみ合わないかも(笑)。

(F) かみ合わないか。

—— 東電さんは、半分以上文系だと思いますけど。

(F) 文系ですか。私はそれは分からないなあ。

—— 技術系なんて、むしろ、少ないと思います。事務とか、営業の人が多から。

(F) なるほど。

—— それでもこちらに伝わってこないのは、どういうことなのかな。

(F) どうして私たちに分かるような言葉で話してくれないのかな、というのはありますよね。やたら変なことを言うから、マスコミもどこに突っ込むかといったら、ベクレルとシーベルトの違いの説明とかに費やしてしまうわけですよ。そんなことはどうでもよくて、被ばくの内容について言えばいいのに、ベクレルの単位はなんだ、シーベルトの単位は何々だって。難しいことをスポークスマンが言うから、それが分からないという意見が出て、その説明だけに時間を費やして、終わってしまう。

本当に知りたいことは、被ばくについてどうなるか。「ただちに影響はない」、その「ただちに」というのはどの辺にあるのか。その辺りを知りたかったけど。

このあいだ吉田所長がお亡くなりになって、がんだったということが分かったけど、そのときに東電さんが、「がんは5年後に出るはずだから、今回は関係ない」と言って、え？「ただちに」というのは、要は5年後だったの？ って私たちは思ってしまうわけですよ。

あの頃は、「ただちに影響はありません」とか、「甲状腺は調べなくちゃいけません」とか、チェルノブイリの話は出してきたけれども、そういうことについての分かりやすい説明をしてほしいなと思うのですよね。

では、そちらの方、ご意見をどうぞ。

—— では、説明する側が何を考えるかということなのですけど。

理系脳っていうのは確かにその通りであって。やはり、嘘のないように、ということをもものすごく考えてしまうのですよ。こういう条件の下でこういうことをすると、こうなる、ということと言わなければならない。前の部分を飛ばしてしまうと、身内から、「本当かどうか分からないじゃないか」と言われるわけですよ。そうすると、その前提条件をたくさん置いていく。そうすると、よく分からない、結論だけ言え、みたいになってしまうわけです。そこら辺がなかなか難しいところなのです。

(サブ F) 前提条件が長いということですね？

—— そうなのですよ。

我々も、一般の方に分かりやすいような説明とか、パンフレットを作ろうとするのですが、そうすると、どうしても厳密には正しくはない、ということになってしまったりする。それを良心的に嫌うところがあって、やはり小難しくなってしまうと、分かっている人には分かるんだけど、というものになってしまう。そういう壁になってしまうと。

(F) 透明性を高めているつもりなのですよね。

—— そうです。分かってもらおうとして、一生懸命説明するのですよ。だけど、

—— でも、伝わらない。

(F) では、なぜ池上さんの説明はよく分かるのでしょうか？ 彼は嘘をついているのでしょうか？

—— そこが問題なのですよ。嘘かというと、嘘ではないのです。ある条件下では正しいけれども、別の条件下では正しくない、というのがあられるわけです。

(F) そちらの方は、まだ漠然と、あるような感じもするし、ないような気もするわけですか？

—— はっきり、ある、ないっていうのは、

(F) 「あるのか、ないのか」では決められない？

—— そうですね。あると思ったらこう思うし、ないと思ったらこう思うし。でも、あるかないかという結論を出さなくてもいいのかなと。

(F) では、「何なのか？」というところで考えてみてください。
では、そちらの方、ご意見を。

—— 何を言えばいいんですって？

(F) 皆さんの意見を見て、ここはちょっと引っかかるな、みたいなのがあれば。同感だな、とか、さすがだな、でもいいですよ。

—— 先ほどの議論だと、やはり、広報が下手かなというのがありますよね。それは、広報官を育てなくてはいけなくて、研究員は広報に向かないんですよ。先ほどおっしゃったように、学会などにいくと、やはり細かい議論を求められるので、(広報は) 下手なのですよ。

(F) 文系でも駄目なのですか？

—— いや、そうではなくて、理系出身で広報担当の人を育てないといけない。うちの会社も文系が広報をやっているんだけど、まあ、はっきり言って馬鹿ばかりですよ。まあ、分かりやすいかもしれないけど。

(F) そうやって文系を馬鹿にされると、私たちみたいな文系の人間は、

—— いやいや、それは無理なですよ。自分で研究していないことを説明するのはやはり無理なので。

(F) それはそうですよね。

(サブ F) 理系の広報マンですね？

— はい。それが必要で。で、広報が下手なんだと思います。

あと、私がここで言いたいのは、「ただちに」と言ったのは政治家であって、原子力屋さんではないですから。枝野さんですから。それは忘れないようにしていただきたい。

(F) ああ、枝野さん。でも、5年後にがんになるというのは？

— あれはもう論外ですよ。嘘つきですよ、あれは。あれはつまり、早く逃げろと言っているのですよ。俺たちは責任を持たないから逃げろというメッセージなのですよ。

(F) そうしたら、そちらの方、意見をどうぞ。

— 何を言えばいいのですか？

(F) 思ったことを。「ない」と思ったんですよ。

— 何か選んでコメントすればいいんじゃないですか。

— 「ある」という意見が多いのには、ちょっとびっくりしていて。

(F) 「ない」って書きましたもんね。

ええと、「どうしたらよいか？」に対しては、[親しみやすいものにする]と[今までのイメージを払拭する]でしたっけ？ 「今までのイメージ」って何ですか？

— 情報を隠したりするので悪いイメージができるから、そういうところを払拭してほしいなど。

(F) 情報操作とか、情報を隠ぺいすることをやめてほしい。そうしたら良くなるんじゃないか。私は「ない」と思っている。そういうことなのですね？

(サブ F) ご自分の意見でどうぞ。

— ええと、去年、原子力関係の人とお話をしたときに、「私たちは情報公開しています」というんですけど、私たちには届いていないのですよ。いくら届けていますっていても、届いていなければ意味がないので、そういうところをもっとはっきりしてほしいなと思

ました。

(サブ F) きちんと届く情報をとということですね。

—— それはどういう組織の方でした？ 差しさわりがなかったら教えていただきたいんですけど。

—— NPO 関連の人でした。

—— NPO 関連の、原子力関係ですか？

(F) PONPO みたいなところですか？

(サブ F) これでいいですか？ (付箋の確認) 貼る場所はここですね？

—— ああ、はい。

(F) [今までのイメージを払拭する] の追加ですね。

—— ムラビと風の方だったのかもしれませんがね。

—— 説明を求めても全然分からなくて。

—— 原子力で NPO って、あまり聞かないですよ。

(F) そちらの方、ご意見をお願いします。

—— なんていうんですかね、説明が下手なのですね。

(F) 皆さん、そこにいきますね。「どうしたらよいか？」はそこなのですね。

—— そうですね、そこですね。

やはり、公式の場で説明するときは、本当にそちらの方の言う通りで、間違いのないようにと思うと、あんなふうになってしまうのですね。本当だったら、家族で話すときは、こういうことと同じなんだよ、とかよく言いますよね。そういうことを言える感じになればいいんだけど、どうしても構えてしまうんですよ。

(F) 私がちょっと知りたかったのは、コンクリートって劣化しますよね。だから、陸橋とか、コンクリートがボロボロになって、全国で補修しなければいけない橋が、

—— 要は、雨風ですよね。外側にさらされていれば。

(F) でも、原子炉ってコンクリートの中に入れてありますよね？ それを 20 年延ばそうとなったら、40 年でリミットですと言っていたものを、40 年目が来て、あと 20 年延ばすことができるんですか？

—— ああ、コンクリートではなくて、どちらかというと、中の配管とかそういうものを取り替えるのです。で、コンクリートは、腐食するみたいなことを考えていますので。

(F) ああ。そういう説明をしてほしいのですよ。

全国に橋があって、ボロボロになっていて。でも、予算がないからできませんとか言っているけど。そういう説明を分かりやすくしてほしい。橋の場合はこういうことがあるんだけど、原子炉はこうですよ、という説明をしてくれたら。

—— そうですね。信頼関係がガタガタなのでね。それは本当に、大事な言葉ですよ。

(F) そうなのです。信頼関係を構築できるような説明。

一巡してお聞きしましたね。では、そちらの方、またどうぞ。

—— 信頼関係というのは、我々が普通に生活をしていると、原子力関係の人に会うという事はまずないわけです。

(F) ないですね。

—— でも、このフォーラムがあったから、話ができ。そういう場を作っていないと、信頼関係は持てないじゃないですか。

(F) そうですよ。私、原子力関係の皆さんが好きになりましたからね。本当に。

—— 私も変わってきて。共産党系の意見を言っていたのが、いや、すぐは無理かもしれないって。そっちに向かっていこうよ、という意見が変わってきたことは事実だし。やはり、相手のことをお互いが理解していかないと、信頼関係はできない。コミュニケーション

ンを取っていかないと無理じゃないかなと思いますけど。

(サブ F) こんな感じでよろしいでしょうか？

—— はい。

(F) では、そちらの方、お願いします。

—— そうですね…。

(F) どんどん言ってください。私は順番に回しているだけですから。

—— 情報は、出しているところは出しているんですね。先ほど（自己紹介時）も、新規規制基準を環境省のホームページで、という話がありましたけれども、たぶん、あれは規制庁にいかないとならないのですね。そういう縦割りが邪魔しているところもあると思うんですけれども。

(F) 縦割り行政ですね。

—— そうですね。一括して、ここに行けば原子力のことはなんでも分かる、みたいなものがなかなか作れない、というのが問題なのかなとも思いますけど。

でも、やはり、なんていうんでしょう、ただいれば情報が伝わってくるという種類のものではないのも確かです。やはり、能動的にアクセスしてもらわないと情報にはたどり着かないというのはあると思います。

これは、でも、原子力に限った話ではないと思うのですけどね。例えば、iPS細胞だって、あれだけ注目されて、テレビで取り上げられると情報が来るけれども、それまではなかったの。

そういう点では、やはり、注目を浴びないといけなくて。その注目の浴び方が、今回は非常によくない浴び方をしてしまったというのがあって。で、最初にネガティブなのがバツと来たと思うんですけど。

例えば、昔、渡瀬恒彦が「廃棄物処理が必要だと思います」ってテレビで言っていたんですけど、そういうのはあまり記憶に残っていないと思うのですよね（笑）。

(笑)

(サブ F) タレントさんを使って。

—— そう、そういうのを NUMO が一時期やったんですけれどね。やっぱり、そうなの？ みたいな感じになってしまうんですね。

なので、関心を持っていただけるように努力もするのですが、なかなか、平常時というか、何もないときには興味をもっていただきにくいところはあると思いますね。

—— たぶん、私たちって、原子力と聞いただけで、「え？ もう分からない」ってなってしまうんです。「ああ、もう分からない。だけど、嫌」というのが、ほとんどの人。

(F) 広島・長崎を経験しているか、西のほうに住んでいる人は特になのですが。やっぱり、小学校の修学旅行で広島原爆ドームに行くんですね。そういうことを考えたときに、もうこんなことを二度としたくない、それはイコール戦争でもあるんですけども、よくも人間に向かって、都市に向かって原爆なんて落とせたな、という気持ちになってしまうわけです。それと同じようなものが、東海村とか、福島とか、柏崎とか、伊方とかにあると思ったら、やはりアレルギーを起こしてしまうのは仕方がないかなと思う。

ただ、それが本当に安全なのですよ、ということをごきちんとしていただきたいのに、「安全だから」、「活断層なんてない」って言っているのがちょっと。本当に危なかったら、どこか違うところに移せばいいじゃんとか思わないんですかね？ もう、立候補したらお金がいっぱい入ってくるからかなとか、そういう気持ちになってしまう。

—— 活断層の話は、すごい難しいです。あるということは分かるけど、ないということとは絶対に証明できないのですよ。活断層じゃない、動くか動かないか分からないとなったときに、動くという保証もなければ、動かないという保証もないんです。科学って、どれだけ突き詰めていっても、絶対の答えは出ないので。

—— 出ないですね。物差しがまた違いますから。何百万年とか、50 年とか、比較するのがちょっとね。

(F) 冒頭の自己紹介でも、8割の人が（もう一度事故が）あるんじゃないかと思っている、というのがあったでしょう。

—— 地震が起きましたからね。それは事実ですよ。

—— そうです、事実なので。

—— だから、起きてても大丈夫なように、これからしようとしていますね。

(F) では、次に行きますね。出てきた意見をグルーピングします。グループを作ったら、それぞれに一言でタイトルをつけましょう。それぞれの意見やまとまりについて、評価したり、構造化したりしましょう。発表のことを考えて、グループ内での優先度をつけても構いません。

発表されるのは 2 番目のファシリテーターさんなので、やりやすいようにどうぞ。私はこの辺でお役御免っばいなので。

—— え？

(サブ F) 違いますよ。グループワーク 1 は全部 1 人でやるんですよ。

(F) ああ。まだ私が頑張るのか。では、まず、あるなしのところで分けましょうか。

(サブ F) 皆さん、積極的にお手伝いしてください。

—— [まだ分からない] は中間ですかね？

(F) 真ん中かな。この辺にしましょうか。

ええと、その辺をやってください。私は、こちらの近いほうをやります。ええと、[ムラをなくすのは無理] という意見。ムラをなくすということがありますね。

—— 「あるのであれば」というのも真ん中辺りですかね。

(F) ここは全部（説明に関する付箋）ですね。

(サブ F) 説明、透明性、説明責任。皆説明ですね。

—— 「ある」の中、「ない」の中で、また分けたほうがいいですね。

—— そうですね。

(サブ F) 情報の公開。これも説明ですね。

(F) やはり、「(どうしたらよいか?)」は こういうところということですね。

「信頼関係」は少し違うかな。最終的にこうなるということですね。

—— 「ある」がさすがに（多い）。

—— 「専門家」とか、そういうキーワードが多いですね。

—— これも、これもそうですね。「利害関係者」もそうで。専門家集団。

—— 「専門家集団」と「利権集団」はちょっと違うかなと。

—— そうかもしれない。

(F) 細かいことをやっていると、またグルーピングが難しくなりますよ。

—— この辺りは利権集団って感じですね。

—— 「利害関係」と、「親方日の丸」はたぶん同じ意味だと思う。

(F) 「どうしたらよいか？」はサブファシリテーターさんが書いてくださったことが多いですね、割と。

—— ここに、どちらでもない、分からないというグループをひとつ作りましょう。
「ある」は「ある」ですね。

—— 専門的ということですよ、たぶんね。

—— これは、こちら（どうしたらよいか？）のほうかもしれない。

—— どちらかというともうそうですね。

(総合 F) あと 15 分になりました。サブファシリテーターさん、聞こえていますか？ あと 15 分です。

(F) 今のところ、ばっちりですね。

(サブ F) ばっちりです。落ち着いて大丈夫です。

(F) こちらの意見ですけど、分けても構わないですか？

—— 大丈夫です。

(サブ F) グループिंगして、タイトルを書いてください。

—— ここはマスコミですか？

(サブ F) 皆さんでタイトルを話し合って書いてください。

(F) これが、「マスコミの影響」でいいですか？

—— そうですね。

ここは「専門家」ですか？

—— ここが専門家でしたっけ。

—— これはどうでしょうか？ これも入りますか？

(F) これはこっちですね。

—— ええと、ここのタイトルは「専門家」ですか？

—— 「専門家集団」ですね。

—— 「専門家集団」としての原子カムラか。

—— これは「利害関係の集団」の話ですね。

これは信頼の問題ですね。

(F) 「何なのか？」の中にこれを入れていいですか？

—— ああ、そうですね。

(F) 「何なのか？」。「まだ不明」(記入した)。

—— この辺りが「ない」ですね。

—— 少数派ということですね。「ムラはない」と。少数意見ですね。

(F) 「ムラはないよ」(記入した)。

(サブ F) では、今度は「どうしたらよいか？」をまとめてください。

(F) はい。ペンの色を変えましょう。ピンクにしよう。

「原子カムラ」というものをどうしたらよいか？ 「ムラという言葉がなくそう」(記入した)。

—— なくそう。まず、そこから考えよう。

(F) どうすればよいか。ムラという言葉がなくそう。で、親しみやすいものにしよう。どうやったら親しみやすくなりますかね？ 「イメージアップ」ですね(記入した)。そのためには。

—— そうということですね。ストーリーですね。

(F) まず「ムラという言葉がなくそう」。そのためには、「イメージアップ」。そのためには、[説明責任を果たす]、[信頼関係を築く]。教育をしていく。信頼関係が築けるようにする。

—— それは分けませんか？ 分けたほうが良いと思います。

(F) 何を？

—— 説明とか、その辺りを。

(F) ああ、そうか。どうぞ。どう分けますか？

説明に工夫が必要ということと、教育とを分けますか？ 理解できる努力と説明？ 情報公開は別ですか？

—— 説明って、情報公開でしょう。

(F) 説明は情報公開だと思うんだけど。

—— 確かに。

(F) [理解できるように努力をしていく]、[信頼関係を築く]。うーん、ここは全部サブファシリテーターさん（が書き取った）の話なんですよ。

—— あれじゃないですか。そのためには、「信頼関係」が必要。で、それは情報を発信する側の問題と受け取る側の問題がある。それで分けられるんじゃないですか。

—— ああ。

(サブ F) ああ。

(F) じゃあ、分けてください。

—— 発信側は、説明責任とか、透明性を高めるとか。
受け取る側は、教育とか。分けられませんか？

(F) 理解してもらおう努力というのは？

—— 努力はやはり発信する側でしょうね。

—— そうですね。

—— お互いに、だから、歩みよらないと。

—— [理解できるように努力をしていく]は（受け手と発信の）間なんじゃないですか？
どちらかではなくて。

(サブ F) これは説明ですよ。この付箋も説明。

—— 発信する側に問題があるということですよ。

(笑)

—— 一般住民が向いてくれるような説明をしてあげると。

(F) [理解できるように努力をしていく] はどこがいいのですか？

—— 間なのかなって。お互いの協力で、という。

—— でも、これがゴールのような気も。

(F) 私は、これがゴールかと思った。

—— そう。信頼関係ですよ。

—— これがゴールなんじゃないですか。ですから、そのためにどうするか、ということですよ。

(サブ F) じゃあ、ゴールを上の方に貼りましょうか？

(サブ F) え？ それは離れすぎでしょう。参加者の皆さんにお任せしましょう。

(F) こういう流れにしてしまったから、ゴールはこの辺で。

ええと、先ほど、「フォーラムは良かった」というような付箋がありましたよね。そう、これですね。

—— 「信頼関係」はやはり（付箋が）いっぱいありますね。

(F) [説明に工夫が必要。信頼関係が築けるような]。[フォーラムのように原子力関係の人と話す場が必要]。これがゴールですか？

—— 結局そこですね。そこに尽きます。

(F) 教育はここに入れておきますか？

—— こら辺の付箋が受け手側になるんですかね。

(サブ F) なるほど。

—— ここが発信側で、ここが受け手で、こうなりましょうと。

(サブ F) これがゴールみたいな感じでしょうか。

(F) この付箋は「何なのか？」のほうではないのですか？

—— ああ、「どうしたらよいか？」のほうで書いたんですよ。

(F) 分かりました。「どうしたらよいか？」で OK と。

(サブ F) 「先入観」というのは、やはり受け手側でしょうね。

(F) 受け手側ですね。

こんな感じで OK ですか？ 「だから、結論」(記入した)。

(サブ F) こちらの枠はどうしますか？

(F) これはどうしようかな。

—— こちらが発信で、こちらが受け手ですよ。

(F) そうですね。「そのためには」の先を 2 つにしたらいいんでしょう。

(サブ F) そうですね。受け手側と発信側とですね。

(F) 結論はここら辺の付箋ですね。信頼関係を築く。信頼関係を高める。信頼関係が築けるような。話す場が必要 (アンダーラインを引いた)。

(サブ F) 結論が、きれいにピンクになりましたね。

(F) まあ、そうになりましたね。

(サブ F) まだ時間があるので、どうぞ、話し合いを。

(F) 発信側でどうするか。説明責任を果たす。分かりやすい説明をする (アンダーラインを引いた)。

理解できるように、あ、これはこっちですか？

(サブ F) [理解できるように努力していく] はどちらですか？

(総合 F) あと 5 分です。準備が終わったグループは、ホワイトボードに模造紙を貼ってください。

— ええと、お互い。

(F) 「お互い」ですね。

— 結論のところに貼ればいいんじゃないですか。

(F) ああ、そうか。分かりました。
完璧ですね。

— ムラビとは結論が出せませんでしたね。(結論の部分がピンクの付箋だけだった)

— 一般の人の気持ちってなかなか分からないですもんね。

— そうですね。

— ムラビとは結論が出せませんでした、っていう感じかな。

(笑)

(サブ F) せっかくですから、全部見てみてください。

(F) はい。「情報の公開を速く」、「わかりやすく」。これもキーワードですよ。(アンダーラインを引いた)

「透明性を高める」(アンダーラインを引いた)。

あれ、どこかに「不透明」ってありませんでしたっけ？ あ、ここに「不透明なので」ってありますね(アンダーラインを引いた)。

(サブ F) ここに「隠ぺいしない」というのもありますね。

(F) 隠ぺいしない (アンダーラインを引いた)。

—— こちらに、「能動的に」というのがあります。

(F) 自分から、ですか。能動じゃなくても、与えてほしい気がするけど。

—— 信用していない。

—— 結局はそこですよ。

—— うん、何を言われても信用できない。

—— そうだと思います。

—— そうですね。

(F) 専門家の皆さん、何かコメントはありますか？

—— 受け手の気持ちになるのが難しいですね。

(F) 受け手にどうしてほしいか。

—— 受け手にどうしてほしいか。これですよ、やはり。

(F) 「先入観をなくしてほしい」(読み上げる)。

—— 聞く耳を持ってほしい。

—— そういうことですよ。ニュートラルに聞いてほしい。中立的に聞いてほしい。どうせ嘘を言うだろう、って思って聞くのではなくて。

(サブ F) でも、こういう場だと、やはりお互いに聞けますよね。

(F) そうですね。

A 班は素晴らしいですね。もう完璧ですよ。

—— もう言うことないですね。

(F) ええと、ここは「専門家集団」。ああ、「ある」ってことですね。「ある」って書いていいですか？

—— ええ、ここは「ある」ですね。

—— 「ある」が多数なのですよ。ほとんどの人はあると思っている。

(サブ F) 「ニュートラルに聞いて」というのを書きくわえたのですね。
はい、これで貼ってもよろしいですか？

(F) はい。では、皆さん、お茶でも飲みましょう。

(サブ F) どうですか、全体を見て、言い足りないところはありますか？

(F) いや、ばっちりですよ。皆が優秀だから。

(サブ F) どなたが発表するかを決めてください。

(F) そうしたら、今回はこちらの方をお願いしようかな。

—— ご指名ですか。

(F) こちらの方に任せていいですか？

—— はい。

(サブ F) では、発表者も決まりました。

(タイマーが) 鳴る前に終わりましたね。きれいにまとまって、分かりやすいですね。

<終了>